

一人ひとりの人権が守られるために

人権意識を高めるために必要な気づきの場として、市では、各種講座や研修会などを行っています。しかし、差別が完全になくなったとは言い切れません。

差別をなくし、一人ひとりの人権が守られるまちづくりを、みんなで目指しましょう。

周りには様々な人がいます。あなたは？

- ・差別をする人
- ・差別をあおる人
- ・差別に同調する人
- ・差別に関し、無関心な人…差別があっても気付かず、自分に関係がないと思っている。
- ・差別に傍観者の立場で接する人…差別があることは知っているが、ただ眺めている。
- ・差別をしない人



これからのあなたは…
「差別をなくすために努力する人」を目指しましょう。



本人通知制度

住民票の写しや全部事項証明書（戸籍謄本）などを第三者に交付したことを登録者に郵送でお知らせするものです。

委任状の偽造や不正請求があった時に、早期に発見することができます。希望する人は申請してください。

対象 本市の戸籍や住民基本台帳に記載されている（いた）人

必要なもの 顔写真付きの本人確認書類（代理人の場合は委任状、法定代理人の場合は全部事項証明書など資格を証明する書類）

問合せ 市民課住民担当（☎ 423 - 9454）

12月3日～9日は障害者週間 「誰もが尊厳を持ち 自立を支え合い 共に生きる社会」を目指して

障害者を取り巻く課題への理解を深め、障害者が社会の様々な分野で活躍できる社会づくりについて考えてみませんか。

▼街頭キャンペーン

日時 12月5日(月)午後4時

場所 ラパーク岸和田（春木若松町）、イオン東岸和田店・トークタウン（土生町2丁目）

▼ふれあい作品展

市内の支援学級・支援学校の児童・生徒や障害者の作品を展示します。

日時 12月7日(水)～9日(金)午前9時半～午後5時（最終日は午後2時まで）

場所 マドカホール（荒木町1丁目）

問合せ 障害者支援課障害福祉担当（☎ 423 - 9446）

12月10日～16日は 北朝鮮人権侵害問題啓発週間

拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題について関心と認識を深めましょう。

問合せ 岸和田警察署（☎ 439 - 1234）

人の輪

HUMAN CIRCLE
ヒューマン サークル



No.74 発行 岸和田市人権協会・岸和田市
事務局 人権推進課・人権教育課

12月4日～10日は人権週間

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち

～育てよう 思いやりの心

昭和23年に国連で「世界人権宣言」が採択されことを記念して、毎年12月4日～10日を「人権週間」と定め、全国的に人権意識を高めるための啓発活動が行われています。市でも様々な活動を行います。人権について考える機会にしてみませんか。

場所 マドカホール（荒木町1丁目）

問合せ 人権推進課人権推進担当（☎ 423・9562）

●人権を守る作品展

日時 12月2日(金)～4日(日) 午前10時～午後5時

●特設人権相談

日時 12月3日(土)午前10時～正午

●人権を考える市民の集い
「虐待の淵を生き抜いて」
～命の鼓動～

日時 12月3日(土)午後2時～4時

私たち14人の人権擁護委員が相談を受けています(15面も参照)。



10月17日(月)に法務大臣表彰を受けた南淳子さん



今回は、視覚障害者の伴走をしている人のお話です。

伴走をするきっかけ

先日、中央公園で開催された「第5回視覚障害者とともに走る会」に初めて参加しました。走る会が毎年行われていることは知っていました。今まで、都合が合わなかったのがあります。関心がなかったというのも事実です。

参加のきっかけは、最近、走るようになり、伴走している人たちと一緒に走ったことでした。
見えないことの怖さ

伴走者になるために、アイマ

スク体験をしました。障害物が何もない場所でも「見えないことの怖さ」は想像を絶しました。その状態で走れることはもっと怖く、横で音がするだけでびっぴりしました。

周りのことを考えられる人に

次に、アイマスクをした人を導いて歩く体験もしました。自分の言葉がその人の目になるため、どういう言葉を言えたいのか分からず、言葉に詰まったりしながら、それでも相手はアイマスクをしているだけだからと、どこかで安心感がありました。

伴走をしてみたこと

今度は、実際に、輪にしたロープを持って、視覚障害者の伴走です。
段差、曲がり角、目の前の状況を全て声に出しながら走るため、頭と体、神経の全てを使います。これほど大変だとは思

も寄りませんでした。伝えないといけないことが多く、公園内にこれほど危険な箇所が多いのなら、町の中は危ないところだらけだと感じました。

伴走の体験から、見ることができない私たちが気をつけなければならぬこと、今までと違う視点で物事を感じられるようになったこと、自分ができることなどに気づかさせてもらいました。

世間でも視覚障害者のことを頭で理解したつもりになっていくだけで分かっていないことがたくさんあるように感じました。こういう体験を多くの人にしてみたい。視覚障害者に対してだけでなく周りのことを考えられる人が増えるのではないのでしょうか。
障害者支援課・人権推進課